

地質図を用いた商品開発のすすめ

その5 ブックカバー

齋藤 眞¹⁾・森尻 理恵¹⁾・坂寄 裕代¹⁾

前号では、キャンバス地の「魔法の布 (inkmax2)」を使った手提げ袋を紹介しました。今回はキャンバス地を使ったブックカバー(英語ではbook jacket)を紹介したいと思います。

現在、布製のブックカバーは、500円程度の無地の物から、2,000円程度のやや高級な物まで販売されています。また自作用に、紙製のブックカバーはWebなどでも作り方が公開されていますし、アイロンプリント用紙に好きな画像を印刷して作るオリジナルブックカバーキットも販売されています。

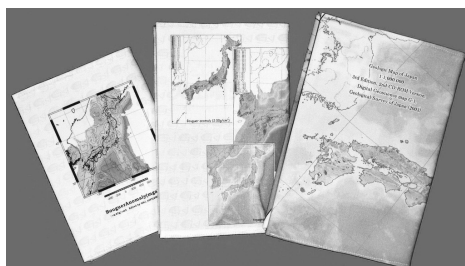
私たちは、試作品として市販のブックカバーに倣った型紙をイラストレーター上で作成し、日本重力CD-ROM(地質調査総合センター編, 2004)の画像データベースに収録されている地質図や重力異常図などの画像を配置し、「魔法の布」のロール布にプリントして作成しました。「魔法の布」は手頃で安価なA4サイズ版もありますが、縫いしろも含めた型紙がA4サイズでは取まらず、ややコストのかかる108cm幅のロール布を使うことになりました。

作成したサイズは通勤や通学時に持ち歩くことの多い文庫判、新書判、四六判の3種類です。表側の画像と共に、縫いしろ部分も薄い色の点線でプリントしました。いろいろな厚さの本に対応できるように、右側は表紙を差し込めるよう袋に、左側は折り返して厚さ調節ができるようにしてあります。折り返しの押さえの部分は、GSJロゴのデザインをプリントした帯を作りました。

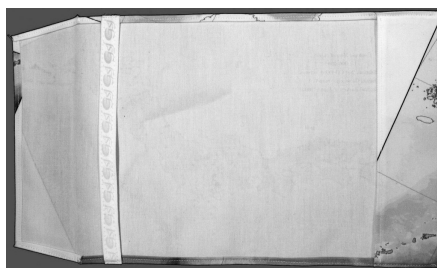
この3種類のサイズをロール布に無駄が出ないようにうまく配置すれば、使用する布代が節約でき、1枚当たりのコストが200-300円になります。実際にはインク代やプリンターの償却費などほかのコストもかかりますし、縫製の手間(人件費)が入っていませんので、現実的にはもっと高くなりますが、要領よくコストをかけないようにして、販売価格が1,000円くらいになれば、その地域の地質図や重力異常図などをあしらうことも可能なので博物館やジオパークのお土産として秀逸な物になるように思われます。

また「魔法の布」はオンデマンドで様々な画像をプリントし、少量を縫製するには向いています。画像を決めて大量に作成するならば、印刷会社に発注した方がコストは下がると思われます。

地質図はもともとの地質を反映して様々な色になっていて「天然のデザイン」として魅力的ですが、重力



ブックカバーの試作品。左から文庫判、新書判、四六判。



ブックカバーの裏側。右側は表紙を差し込めるよう袋に、左側は折り返して厚さ調節ができるようにしてある。

異常図も値の色分けによっては、鮮やかなデザインとなり、いわゆる基盤の起伏を表現できますので、かなり魅力的です。このほかにGSJの持つコンテンツには、地球化学図(今井ほか, 2004)もブックカバーに向いていると考えています。元素ごとに鮮やかな図となり、地質とはまた違った元素という切り口から、国土の様子を表現できること、元素数分のデザインを作ることが可能なので例えば本のサイズごとに元素を分けるなどしてシリーズ化も可能だからです。

地質調査総合センター(編)(2004):日本重力CD-ROM第2版。数値地質図P-2。産総研地質調査総合センター。

今井 登ほか(2004):日本の地球化学図。産総研地質調査総合センター, 209p。

<http://www.inkmax.co.jp/>

SAITO Makoto, MORIJIRI Rie and SAKAYORI Yasuyo (2010): Recommendation of product development using a geological map. 5. Book jacket.

<受付:2010年5月11日>

キーワード:地質図, 商品開発, コンセプト, 布製品, ブックカバー

1) 産総研 地質情報研究部門